

津幡の空から

石川県学校生活協同組合

2021・8月号

石川県学校生活協創立 72 年目 健康経営 (健康・清潔・迅速・丁寧・挑戦・学習・笑顔)

夏の全員利用運動ご協力ありがとうございました、でも！

利用人数 4,998 人 (前年比 94%) 供給額 1,228 万円 (前年比 100%)

この上の数字をご覧になってどのように思われますか？
 「利用人数は減ったが、供給額は前年度とおなじで良かった。」と私は、
 思ってしまったのですが、副理事長は「利用人数が減ったことは問題
 だ」と指摘されました。なぜ問題なのかと言えば、「これは普通の購買
 ではない、全員利用運動だからだ」と言われました。運動である以上、
 目標達成が当たり前でなければならない、そうしなければ運動が運動で
 なくなってしまう、もっと危機感を持つべきである。言われてみればごもつともなことです。私も組合
 運動を長くしてきた者ですが、徐々に目標というものに鈍感になって来ていたようで、「こんなもんだ
 な」という考えがいつの間にか身についていたようです。そして、ここ数年赤字の状態が続き、なお、
 消極的な考え方になっていたようです。この指摘を契機に、次回の全員利用運動の目標は、必達のもの
 として皆さんに喜ばれる商品をお届けできるように頑張っていきたいと思えます。一層のご協力をお願い
 致します。



6月までの経常剰余は予算を386万円上回りましたが、-248万円の赤字でした。

石川県学校生活協の6月累計で、供給部門で良いのは、カタログ 275万円 (予算比122%、前年比117%)、共同購入1,031万円 (予算比108%、前年比103%)、リフォーム537万円 (予算比134%、前年比276%) でした。指定店一般は1,047万円 (予算比174%、前年比222%)、ガソリン事業は3,250万円 (予算比130%、前年比109%) となりました。総供給高は16,973万円 (予算比105%、前年比106%) と伸長しています。損益状況も、自主、指定店ともに好調に推移した第一四半期でした。7月からの第二四半期も、この調子で役職員一丸となって頑張ります！！

石川県学校生活協同組合は、県内の教職員を対象とした職域生協です。学校という職場の中で教職員の生活を共同で守り向上させることを目的に結集した福利厚生組織であり、石川県の教職員の自主福祉活動や消費者運動の拠点になっています。

『ヨーロッパ中世 アウグスティヌスとトマス・アキナス』 北本 豊春

西ローマ帝国滅亡から東ローマ帝国滅亡までの千年程が中世です。中世のことを文化や思想を含めて暗黒時代と表現されることがあります。少数の領主や権力者に対して圧倒的多数の農奴がいて、制約のきつい暮らしを強いられました。他の土地への移住を禁じられていたのです。農奴たちには子どもたちに学問を授ける機会が無く、科学や文学・哲学に興味を持つ糸口さえありませんでした。古代ローマの人口は最盛期には百万人程でしたが、この時代には十万人から五万人にも減少したと言われます。古代ローマの施設・設備は廃墟となり遺跡として姿を晒しました。中世の最初の世紀で建築技術や科学的知識は全て失われたと言われています。貨幣経済が消え去り物々交換さえ生じました。キリスト教の強固な宗教体制によつて思想や哲学の思索は滞り、宗教的思索や思惑への埋没を強いられました。中世の上半期には北アフリカのタガステで生まれたアウグスティヌスがギリシャ哲学に目を向けました。新プラトン学派に属して学徒として学んだアウグスティヌスは、ギリシャ哲学から来る「知性」と「信仰」との関係を調整・融合しようと考えました。イデアの世界に属する永久真理を生み出すための、絶対的知性を持つのが神であると考えたのです。中世の下半期に登場する神学者トマス・アキナスは、もう一人のギリシャ哲学の巨人アリストテレスに注目し、その思想をキリスト教に取り入れようと思案しました。

編集後記

熱中症、三度目の点滴

7月1日午前10時30分、田んぼの畦の草刈の最中、急につらくなって、軽度の熱中症になりダウン。息子に電話をかけて病院に運んでもらい、1時間30分の点滴を打って元気を取り戻しました。実は、この軽度の熱中症の点滴は三度目なのです。一・二回はビニールハウス内で、すごく汗をかけた時に補給する水分不足になりダウンしました。ですから暑い日の作業は、水分を十分準備して、気を付けていたのです。しかし、田んぼ周りの草刈りを朝9時から作業を開始して、あと20分ほどで完了と思い、一生懸命していたのが良くなかったようです。まだまだ、暑い日が続きます。皆さんも、体調に気を付けて元気に頑張ってください。(熱中し過ぎないように道祐)